

なな

12月号
vol. 130

「につこりバケツ」
玉手西2丁目付近にて撮影

特集

区界浄土
ニシナリパラダイス

ひかる線路とまぼろしの踏切

今回の区界浄土は、200mほどしかない天王寺区と西成区の区界線。すばり南海鉄道天王寺支線跡（以下、「支線」）を追いかけた。この短い区間に2人で頭を悩ませたが、伴走者である佐々木の提案で、大正時代の地

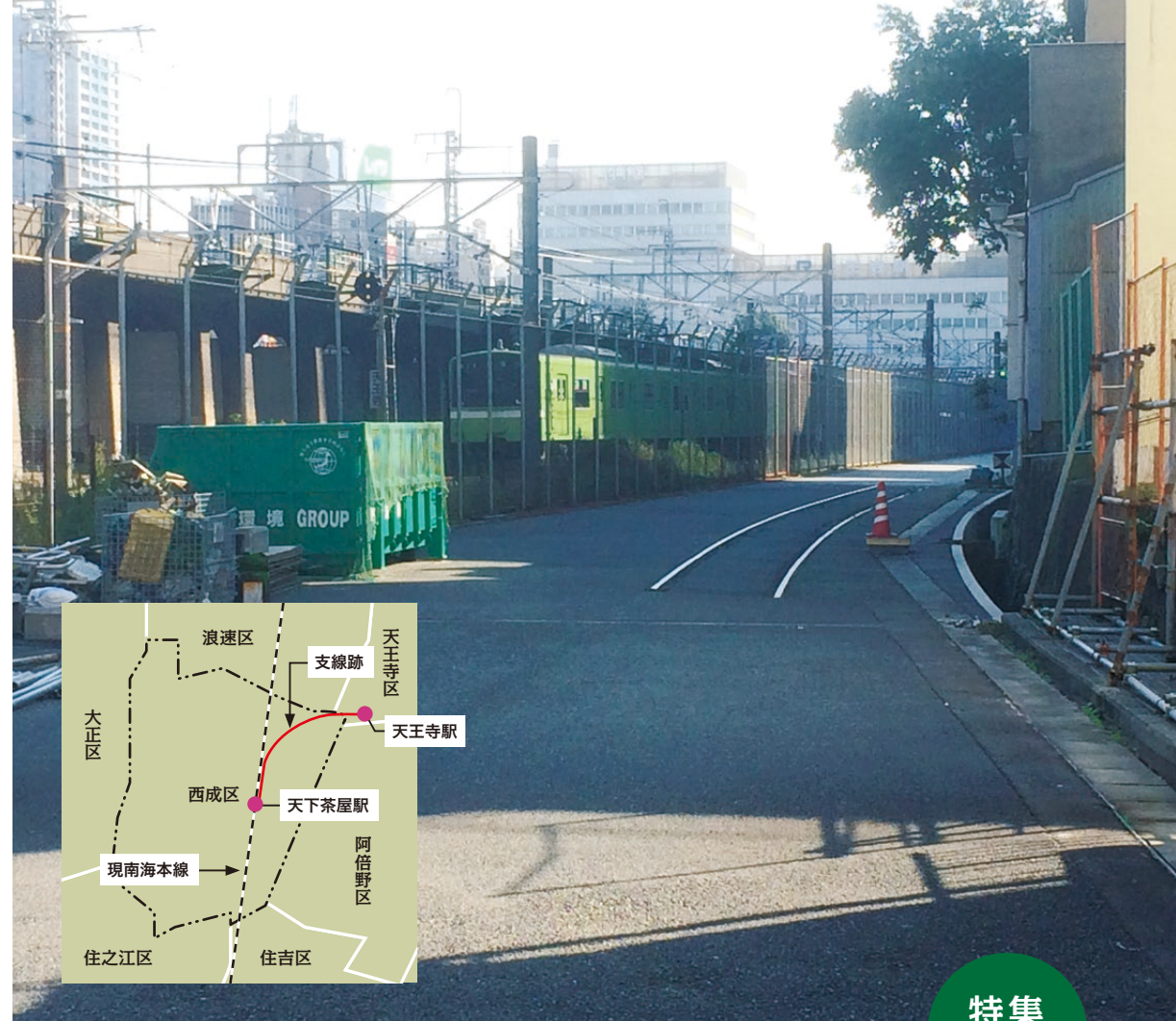
地図帳の凡例では、市区町などを分ける境界線を「市区町村界」と称し、二点鎖線（――）であらわす。西成区は6つの行政区（大正・浪速・天王寺・阿倍野・住吉・住之江）と接し、西は木津川、東は上町台地、北は鉄道ターミナル、南は港湾部に誘導する動線をもつ街である。「なび」創刊当初「にしのりの境界線」というシリーズを掲載した。西成に接する境界線上に何かを発見する試みだった。そしてあらためて境界シリーズ「区界浄土 ニシナリパラダイス」を考えしてみた。

区界線プロジェクト
佐々木敏明／安田拓也

図を確認。確かに関西鉄道時代の天王寺停車場から丁度現在の天王寺動物園辺りで南西に大きく分岐し、当時の南海鉄道本線に合流して天下茶屋に至る線路が描かれていた。佐々木も昔はこの支線を「天下茶屋線」と呼び利用していた。僕には今の風景だけが頭にあり、当時のリアルな話を聞くにつれ、困惑と合点が同時にやってくる不思議な感覚を覚えた。

先ず向かったのは、線路が分岐したあたり、フエンスで囲われた南海系列の建設会社の資材置き場。ふと東のJR天王寺駅を臨むと、何やらアスファルト上に2本の光り輝くラインが見える。そこに確かに当時の線路跡を発見した。そしてここが天王寺区と西成区の区界であり、僕等のスタート地点でもあった。

そこから西成方面を見て先ず目に入るのは、あべのハルカスを望む43号線の坂道。当時はここに踏み切りがあり、佐々木も「この道路はよく渋滞していた」と話す。斜め向かいにはフエンスに囲われた当時の線路跡が、現在大阪市の管理用地として空き地のまま残る。ヘルメットを付けた特別清掃就労事



特集

区界浄土 ニシナリパラダイス

2 鉄道の痕跡

業のおっちゃん達が坂道を登ってくる姿。高齢になっても日々仕事を求めて働くおっちゃん達の姿があった。

山王に分け入る

通りから山王への最初の路地に入ると、古い木造の趣ある「旅館明楽」がある。近所の人曰く、おそらく大正時代には既にあり、まだ今も営業しているという。またその目と鼻の先に「上方演芸発祥乃地 てんのじ村記念碑」と書かれた大きな石碑を発見し、この



てんのじ村…(左上) てんのじ村石碑(右上) 旅館明楽(左下) 松之木大明神(右下) オーエス劇場



60年の歴史ある天下茶屋のお米屋さん

度開店前の銭湯のおかみさんを発見。曰く、正確な地点は不明だが、古地図にはなかった今池駅の名を聞くことができた。知らなかった駅の情報が得られ、少し真実に近づいた気持ちになる。再び表通りに出て人に尋ねると、この地で60年間営業する昔ながらのお米屋さんを紹介してもらった。そこのおばあちゃんに話を聞くことができた。「昔はこの辺りも大きな家が多く、何より人情や哀愁があった。でも今は嫌なニュースも増え、すっかり

始めに見た光り輝く線路。今も磨き続ける人を想像して、ロマンを感じてしまった。かつての車窓からはどんな風景が見えていたのだろう。
.....
天王寺支線について、南海電気鉄道株式会社『南海二世紀に入って十年の歩み』・南海電気鉄道百年史』によると、明治31年に和歌山県まで開通した南海鉄道本線は、沿線の発展に大きく寄与するも災難が重なり、それを補うために天王寺支線が計画され、明治33年に運行が開始された。今から一世紀以上も前のこと。当時、いわゆるライバル関係にあつ

「ここで肝心の合流地点について尋ねると、『あそこに踏み切りがあった』と表通りの交差点を指差してくれた。これに勝る証拠は無い。僕らの想定していたとおり、やはりそこだった。こうして今回の鉄道跡を辿る旅はひとまず終了した。



合流地点と思われる本線高架と交差点

た大阪馬車鉄道(株)は、天王寺駅や住吉大社・天下茶屋遊園地の集客を図るため、南海本線と平行する電気鉄道の敷設を計画していた。その後、南海本線の連続立体交差化事業、また昭和41年に完成した新今宮駅での天王寺連絡により、支線の利用客が減少。天下茶屋(今池(約1・1キロ)が昭和59年、今池(天王寺(約1・2キロ)が平成5年に、地下鉄堺筋線延伸のために廃線となった。

文責／安田拓也

周辺の空間にタイムスリップした気分になった。ここが芸能事の盛だった村の中心地だったのか。そこで支線近辺の芸能施設を巡ることにした。

太子に足を進めると、かつてあった映画館の一つだが今は閉鎖したトビタシネマ・飛田



釜ヶ崎…(左上)山王みどり公園(右上)朝の酒場(左下)シェルター・支線跡(右下)イマナリエ

東映跡や、路地奥に大衆演劇の「オーエス劇場」がひっそりとあった。僕の近所の鶴見橋や梅南の劇場前で、舞台を終えた白塗りに着物を着た役者さん達を初めて見た時に、役者さんが放つオーラに圧倒されたことを思い出す。

動物園前商店街から東に路地を進むと、松乃木大明神という小さな神社があり、境内には「猫塚」の二文字があった。地元の古老の話によると、「新世界のじゃんじゃん横丁の『じゃんじゃん』は三味線の音に由来し、その三味線の皮に使われた猫供養の為に建てられた」そうだ。女浪曲師(浪花節)や商工団体からの寄進がいくつかあり、広く芸能を発信したまちの痕跡をとどめていた。丁度商店街を斜めに横切るように山王みどり公園があり、先ほどの特撮のおっちゃん達が阪神高速の日影で一息ついていてた。公園はとにかく細長く、その支線の痕跡は、両脇の家々を掻き分けて走る電車を想像させた。

本線と支線の 合流地点をさがす

今池商店街の通りに出ると、スーパー玉出

の派手な外観が目飛び込んでくる。その南向かいに廃線跡を利用した資材置き場を眺め、阪堺線の高架をくぐると秋之茶屋商店街に入る。ここからは日雇い労働者のまち釜ヶ崎。高架下では、朝からお酒を交わし賑わうおっちゃん達、露店の怪しげな物売り、そして商店街を外れると三角公園があり、何をしてもなく仲間と談笑して過ごす男達の光景。でも今となっては僕には見慣れた風景。

さて、その三角公園がなぜ三角形なのか。それがまさに今回の支線の通り道だったというのに驚いた。支線跡には野宿者たちのためのシェルターがあった。市の委託事業でNPOが運営していたが、現在は閉鎖され空き地になっている。続く支線跡には「今宮ふれあいの郷イマナリエ」の文字と共にストリートアートが目につく。冬には、地元住民の手作業でイルミネーションが飾りつけられ、冬の風物詩の一つになっている。

さらに南に行くと、いよいよ南海本線と合流したと考えられる地点に近づく。古地図に示された交差点付近に立つが確証がない。その確証を得るため、通りから中に入ると丁

子育てに取り組む人・団体・施設を紹介して、子どもを支えるネットワークをどんどん広げていきます！

公設民営って知ってた？ 西成まなび塾



「西成まなび塾」(以下、「まなび塾」)は2013年から西成区基礎学力アップ事業として、西成区役所と鶴見橋中学校の2カ所で始まりました。現在は、鶴見橋中学校・たねばな会館・玉出老人憩いの家の区内の3カ所で実施されています。中学生を対象にした「大阪市塾代助成事業」も利用でき、公共施設に設置されたまなび塾を運営するのは、NPO法人志塾フリースクール(2017年度受託団体)です。今回は志塾フリースクールの八上さんから話を伺いました。

英・国・数+まなびの時間=4コマ

週に2日、1コマ50分間の授業が行われています。英語・国語・数学の3教科の授業を1コマずつ、さらに「まなびの時間」を1コマで、週に合計4コマの授業を受けることができます。初めて学習塾に通う生徒でも安心して利用できるように、10人以下の少人数授業や個々の進度に合わせた授業、特に基礎学力に重点を置くことを心がけているそうです。また、「まなびの時間」ではカードゲームや理科の実験、ホワイトボードを使った遊びなど、レクリエーションを楽しみます。単に勉強だけでなく、同世代の生徒同士やスタッフとのコミュニケーションも



授業の様子



自主学習する生徒達

図っています。

まなび塾の特徴

教室に通っている生徒数は3教室合わせて52人(10月時点)。学年構成をみると1年生が多く、学年が進むにつれ少なくなる傾向です。まなび塾をきっかけに勉強に意欲的になり受験に備えて進学塾に通い始めるといった生徒もいるようです。また、市の補助制度と同額(1万円@月)で利用できる進学塾もあり多くないので、進学塾代わりまなび塾に来る生徒もいるようです。

指導に当たるスタッフは、地域の大学生や志塾の卒業生が中心です。生徒達と年齢が近いこともあり、自らの経験談を交えながら、勉強の方法、テスト対策などの指導にあたります。訪問した日は定期テストの最終日だったので、テストの終わった開放感からか、特に和やかな雰囲気でした。

わがごと

恥ずかしい話ですが、大阪市に塾代助成事業があることを今回の取材ではじめて知

りました。調べてみると学習塾だけでなく、家庭教師や通信教育、音楽教室、スポーツ教室などでも利用できるようです。ただし、制度利用には条件があります。制度の詳細、利用できる教室については、ホームページで詳しく紹介されています。

今回見学してみると、まなび塾は単に勉強を教えるだけのいわゆる学習塾ではないと感じました。授業後に自習したり、談笑している生徒もたくさんいて、学校や家庭とは違う「居場所」になっているようでした。

西成まなび塾

- たねばな会館教室(火・金)
- 花園南2・9・28
- 鶴見橋中学校教室(月・金)
- 長橋3・9・23 鶴中多目的教室
- 玉出老人憩いの家教室(月・木)
- 玉出西1・8・19
- 時間：各教室、各曜日18時30分～21時20分
- 問い合わせ先：070-6928・4109
- (受付時間：平日11時～20時)

大阪市塾代助成事業
<https://www.juku-osaka.com/>

レポート：沖田一志・寺嶋公典



【佐々木敏明】
雲を刷き陽を従えて天高し
子がガイドする大仏や秋彼岸
鶴鶴やおぼめく水雨切り裂いて



【沖田一志】小学生の男子で流行っている現代版コマって知ってますか？子どもに頼まれた部品を探してオモチャ屋をハシゴ、何度もネットで在庫を探していると、ついに発見！流行りすぎです。



【飯島照喜】
このところ東京、高知と駆け足での出張、ちょっと立ち止まり、振り返ることも必要では、師走を前にしてつくづく思う。

寺島史視(てらしみとし)さん

今月のおとなりさんは、にしな隣保館「ゆ〜とあい」に勤務する寺島さん。今年23歳、笑顔がすてきな好青年という第一印象ですが、和太鼓を演奏している姿がカッコイイのです。子どもたちの人気者。浪速区に本拠地を置く太鼓集団「怒」のメンバーになって8年目。西成区でも和太鼓サークル「輝(ひかり)」「絆(きずな)」を結成し、地域の様々なイベントでも活躍しています。そして、本誌1月号から、編集スタッフとして仲間入りします！これから輝く若者ですので、今後ともよろしくお願いします。



6月 30日

間

いにくらし

お年寄りが多いこのまちは、日中の商店街が賑やかに地元の人がこつた返す、今どき珍しいまち。

住まいに目を移すと、古い家が建て変わらずに多く残る。そして人の体も歳を重ねるに連れて痛んだり、思い通りに動けなくなる。その時に体に合った住まいを選ぶまちは、きつとくらしやすいまち。でも選ぶと言っても、一世一代の決断になるから簡単じゃない。

今は福祉サービスと合わせて、いろんなくらしの形があり、やはり良いものは高い。だけど安いから悪いかなと思えばそうとも限らない。僕の勝手な感想だけど、時を経て今あるモノやコトは、それ自体が価値なんだと思う。勿論ほったらかしでは痛むし、定期健診(メンテナンス)は大事。だからこそ沢山残る古い共同住宅で多少不便だとしても、大家さんや管理会社さんが、住民のくらしに真心込めて安心を添えられれば、その役割は大きいと思う。もしダメなら、何かと忙しい住民同士、モノと合わせてコト(楽しいことや厄介なこと)もシェアというのはどうだろう。

(安田拓也)



細い路地をみんなでシェア

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。

飯エツラン

メシ

16軒目

『鯨喰処 山河』



意外と好評を博していたらしい完全主観のグルメ記事、飯エツラン。隔月連載で復活しました。西成から解放たれ、お気に入りの『食』にまつわる店、人などを紹介します。



鯨の喰処は、手前に座敷、奥にカウンター、15、6人も入ればいっぱいになる、平成27年12月、開店してまだ2年の新装の店である。守口での子ども食堂の連中が集会後、よく利用する店、私もその縁で来るようになった。

山河は“こだわり”と“縁”の店。今日のおすすめを、「それなら今が旬の鰯(ブリ)、刺身にしますか、それとも握りますか(奥さんの河津千賀子マネージャー)、じゃあ、まずは刺身で。『今日のおすすめはオリーブブリ。季節によってスダチブリ、ハーブブリがあります。ブリはうちの店のウリですよ』。ブリは、若魚のときは「ハマチ」、成長段階で呼び名が変わる出世魚として知られている。魚へんに「師」と書くのは旧暦師走に美味であるからだそうで、今が旬だ。でも、なんでオリーブ、スダチ、ハーブのブリ? 「オリーブやハーブ、スダチを使った餌で養殖したハマチやブリ、臭みがなく酸化なくて、魚の色艶もいい。市場に直接依頼して取り寄せています。魚嫌いのお子さんでも、好んで食べるようになったと聞いていますよ(店主の河津守さん)」。香川県の県魚はハマチで、御夫婦とも香川県出身、“故郷へ

のこだわり”が一皿に盛り付けだされてきた。新鮮だ、ちょっと赤身がかかった、口に入れると歯ごたえが、それでいて柔らかな、口にほのかな甘さが広がる。

私は日本酒が好きだ。刺身には酒だ、ぼちぼち熱燗、酒をください。「直虎」非売品(酒の名称です)、「美丈夫」「遠藤」、秘蔵酒などがテーブルの上に、「どれにしますか」。では「直虎」から。冷酒で、ほのかな華やかさ、口当たりの軽さ、でもど越しはしっかりとっている。うまあ、でもこれらは長野県の酒では? 「私、須坂応援大使をしているんです(千賀子さん)、なんでまた? 「須坂市長から依頼されたんです。須坂市に旅行に行ったときに地元の人に親切にされ、それが縁で。店主の守さんはビールのみ、千賀さんは酒が飲めない、でもうまい酒を置いている。故郷との“つながりの鰯”、人との出会い「縁の酒」、美味と美酒、香川と長野を大阪守口で堪能できる喰い処である。

鯨喰処 山河

場所: 守口市日吉町 2-3-6 セントラルビルド 102
電話: 06-6997-6227
営業時間: 11:30 ~ 14:00、17:30 ~ 23:00 (不定休)



【安田拓也】『大阪《生きた建築》映画祭一非・定住者たち大阪』にて放映された泥の河／めし／大阪の宿の3作を見ました。一作の中に色々な人生模様が描かれ、余韻で酔いそう。



【西田吉志】今年も年末が近づいてきましたね。年が明けると、すぐにゆ〜とあいの2周年記念イベントを予定していますが、オープンしてもう2年になるんですね。改めて自分の中でいろいろ整理してみよう。



【谷口円】黒い服を好んで着ているのですが、最近ついにクローゼットを開けるとほぼ黒一色の所までできてしまいました。来年はせめてもう少し、色のある日々を送りたいと思います。



【田岡秀朋】総合区の説明会がスタート。吉村市長は「総合区か特別区かを住民に選んでもらう」と“現状維持はない”が見解だった。来秋の2度目の住民投票までちゃんと勉強しとこ。

号外 マナビバ！通信

「まずは、おいでよ。」ゆ〜とあいには中学を卒業してから進路を一緒に考える場所と時間があります。そんな“フリースペース マナビバ！”の徒然な日常をお伝えします。

マナビバは毎週火・木曜日の10:00~16:00、ゆ〜とあい2階でオープンしています。
電話:06-6561-8801 Mail:info2@human-ref.jp



マナビバの一日

マナビバの一日を紹介します。
活動場所は、西成区出城にある「ゆ〜とあい」。主に2階のスタジオ5の部屋をお借りしています。10時にスタッフ、利用者で部屋の準備からスタート。備品を活動室まで運んで、机を並び変えて活動しやすいように配置換え。その後、学習したり、ゲームをしたりと各自やりたいことをします。昼食は弁当を持って来たり、近くのコンビニで買ったります。天気の良い日は外へ散歩。自由にごします。昼から参加する人



もちろんOK。
利用者は、いろいろな場所から来ます。電車や自転車など交通機関も様々。来たいけど外出ができません、なかなか来れない人もいます。活動が終わってから保護者といっしょにちよっとマナビバに参加している方もいます。月に一回電話で話すだけの利用者もいます。
どんな形でも、社会につながるお手伝いをするのがマナビバです。気軽に声をかけください。お待ちしています。

文責.. 阪井 茂

い湯かげん

衆院選挙も終わって

衆院選挙が終わった。最初は安倍さん(大義なき解散)に、途中からは小池さん(排除発言)に振り回された選挙だった。結果、与党が漁夫の利で前回並みの議席を確保したが、立憲民主党にもお堀分けが回った。

ご近所での選挙話で組板に乗ったテーマは三つあった。一つは、「小選挙区制ってオセロみたいだね」という話。得票差では与党劣勢の選挙区も多かったのに、議席数は与党圧勝だったから、確かにオセロだった。小池さんの「笑って排除」は痛恨だったが、なかったらなかったで「野合」と誹られていた。枝野さんが「まっとうな政治」と割って入っても当

選者は少数だった。制度が悪いのか、野党が悪いのか、ご近所の意見も割れた。話は飛ぶが、大阪市が総合区になったら、西成、住吉、住之江の市議定数は13となり、中選挙区から大選挙区に代わる。既成政党以外の候補者も出やすくなるから、案外と民意に近くなるかもしれない。制度と政党選挙も一考の時だと感じた。
二つ目は、「政治って堂々巡りだね」という話。安倍さんが憲法改正を手柄にしたいのは嫌だが、自衛隊を認知して制御するのは必要なことだというのが、ご近所の意見。社会保障は欲しいが、増税は嫌ではもう前には行けないじゃないか、というのをご近

所の意見。あれやこれや論争するのは良いけど、もうボチボチまとまらないのか、ご近所の皆さんは、少々焦れていると感じた。
三つ目は、「国と地方、同じ政治なのに距離があるね」という話。大阪市の幼児教育保育の無償化を先駆けたのは「良くやった」とご近所の評判は良いが、維新候補が「ボクの小遣いもこんだけ」と例に挙げて、「身を切る改革」で財源は捻出できると演説していたと聞いて、「小っちゃ」と皆が笑った。選挙が終わって舌の根も乾かぬうちに、自民党は教育無償化でも認可外保育所は対象外と言いついて、SNSが沸いている。教育無償化は地方に任せて、税源を自治体に移譲するのが良いと、何故維新は言わなかったんだらう。話はまた飛ぶが、大阪市は総合区に保育所認可の権限を委譲するとの案が示されているから、これは良いことだと思つた。
さて、選挙が終わって、安倍さんが息を吹き返した。戦後(戦後

11月、部落解放全国研究集会の参加者が私たちの「スマイル ゆ〜とあい」にやってきた。午前とは市内の住吉隣保館「寿」で午後は西成。ハードな日程にもめげず、皆さん、お元気だった。

この視察の最後に「お金は返済できてますか？」という質問を受けた。「隣保館経営で利益を出すことは難しく、苦しい状況だ」と正直に答えた。皆さんと言葉を交わしながら、公設・公営の隣保館が公設・“民”営に変わりつつある全国的な傾向をうけて、運営予算の減少という現実の問題に直面し、隣保館運営の今後のあり方に関心が向かっているのだと感じた。

様々なビジネスモデルを作りながら社会的事業を運営されているNPOや民間企業はたくさんあり、彼らから学ぶべきことは多い。なかなか利益が上がらない活動を利益が上がるように工夫し、それが世のため人のためになる。そんな事業を勉強したいと思う。(寺本良弘)

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



㈱ナイス代表取締役
富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「い湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[若松司]10月のイベントを終え、脱力ぎみに積み残された仕事をこなす日々を送っていると、師匠方が忙しく動き回る季節がやってきた。今年もあとわずか、来年はどんな年になるのやら。



[山村裕太]11月下旬にソフトボール大会があります。中学の時は野球部に所属していました。打率は非常に悪かったですが、死球率はかなり高かったです。『当たり屋』と友人から言われました。

地域の縁を心でつなぐ

松崎の 心の時間

12月は師走とも言います。師（先生）が走るのですから「忙しい」月という意味です。12月と言わず、年中忙しいそんな現代人には、インターネットショッピングが大流行です。なにせ自宅にいながら24時間ボタン一つで欲しい物が送られて来るのです。ボタン一つで、法事のためにお坊さんが自宅にやって来る商品（サービス）も出来ました。先日、檀家様から「12月は忙しいので、お参りを休んで下さい」と電話がありました。「心を亡くす」と書いて「忙しい」です。「忙しい」ことも大切ですが、充実した1日と勘違いして「心」を「亡く」しているとしたら残念なことです。

「忙しい」から出来なかったより「忙しい」けど出来たことを積み重ねたいですね。私の場合、毎日晩酌の時間は必ず確保します。私の晩酌に「忙しい」も「暇」もありません。また、上に「亡」と書いて、下に「心」と書けば、「忘」となります。忙しくとも「心」を亡くさず、大切なことは忘れたくないものです。

松向寺 通法

ホップ・ダウンからのジャンプに向けて！

来年1月で、にしなり隣保館が開館して丸2年になる。2年目なので、ホップ・ステップのステップで翌年にジャンプしたいところだったが、初年度から利用者が増えないどころか減少（ダウン）しているのが実情だ。このまま、これまで通りの取り組みをするだけでは、更に利用する人が減っていくと思われる。

3年目を迎えるにあたって、利用する人が増えるためにスタッフで議論して、取り組んでいこうと講習講座の実施を企画している。料理スタジオの活用企画、スタッフの強みを活かした企画、企業を対象にした企画、健康をテーマにした企画。スタッフのセンスが問われるが年明けには一斉に募集を行う予定だ。

そんな中で、我々の関係者が講師になる講座をやっていきたくて考えている。誰しも会議や仕事の合間にする会話の中で、とても嬉しそうに話す時がある。ある人はキャンプ、ある人は電車、ある人はプロレス。好きなことを話せる講座はきっと面白い講座になると思う。

COUNT 2.99

隣保館などで事業を行う中で感じたことをつぶやいて、西成のまちづくりに役立てていきます！



ナビ編集長 寺嶋公典

smile
ゆーとあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆーとあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

ナビ 12月号 (vol.130)

発行日：2017年12月1日（創刊日：2007年1月1日）

発行：株式会社ナイス

発行人：代表取締役 富田一幸

住所：大阪市西成区長橋 3-6-33

電話：06-6563-1156

E-mail: info@nice.ne.jp

url: http://www.nice.ne.jp/

編集長：寺嶋公典

編集：飯島照喜、沖田一志、佐々木敏明、田岡秀朋、西田吉志、安田拓也、山村裕太、若松司（あいうえお順）

イラスト：hidarimaki デザイン：谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

